



議会 だより

令和3年
9月1日
発行

第177号

目次

- 6月定例会 …… 2～3
- 委員会活動報告 … 4～5
- 一般質問 …… 6～9

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111



東庄郷土史研究会 写真提供

～東庄町とゆかりのある岐阜県郡上市大和町 明建神社～

今年、東氏一族が承久の乱の武功により岐阜県郡上市に入部して800年になります。七日祭（薪能）も8月7日に縮小して行われました。薪能「くるす桜」の前座として地元大和南小学校5・6年生による仕舞が披露されました。

[関連記事](#) [最終ページ](#)



東氏の子孫に伝わる
「千葉県指定文化財木造妙見菩薩立像」
東庄町公民館保管

6月
定例会

一般会計補正予算 5953万5千円など全議案可決

～サテライトオフィス開設に係る事業 ・コミュニティ助成事業を計上～

定例会の経過概要

令和3年6月定例会は、6月8日から11日までの4日間の会期で開かれました。今議会では、承認1件、議案3件、報告3件が提案され、すべての案件を原案のとおり可決しました。

なお、教育予算関係の請願2件については、採択となり、「意見書案2件」を可決しました。

一般質問は、4人の議員が行いました。

6月定例会初日の8日には、一般質問を4人の議員が行った後、条例の一部改正の専決処分に係る承認1件、公共施設の地番変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定、令和3年度一般会計補正予算等の議案3件が提案され、慎重審議の結果、全案件を原案のとおり可決しました。

次に、繰越明許費繰越計算書等の報告3件を受けました。

続いて、請願2件が上程され、趣旨説明の後、所管の常任委員会に付託しました。

2日目の9日は、午前に文教福祉常任委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

最終日の11日には、文教福祉常任委員長から付託された請願2件の審査結果の報告があり、これを受け、議員発議による意見書案2件が提出され、可決しました。

主な議案等の概要

◎専決処分の承認（町税条例等の一部を改正する条例）

地方税法等の一部を改正する法律等が令和3年3月31日に公布され、4月1日から施行されることに伴い地方税法等を引用する条例の一部改正を専決処分したため、承認を求めらるるものです。

◎公共施設の地番変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定



定例会の様子



大網文教福祉常任委員長の報告

地籍調査事業の成果により土地の地番が変更になったことに伴い一括改正を行うものです。

◎一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、5953万5千円を追加し、補正後を58億153万5千円とするものです。

◎介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、31万9千円を追加し、補正後を14億9905万円とするものです。

6月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=-
(議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	越川良男	柳堀忠	桜井莊一	土屋光正	宮澤健	佐久間義房	板寺正範	花香孝彦	大網正敏	城之内一男	高木武男	鈴木正昭	土屋進	山崎ひろみ
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(町税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	公共施設の地番変更に伴う関係条例の整理に関する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	令和3年度東庄町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	令和3年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について(令和2年度東庄町一般会計繰越明許費繰越計算書)	報告	報告事項のため採決はありません													
報告第2号	事故繰越し繰越計算書について(令和2年度東庄町一般会計事故繰越し繰越計算書)	報告														
報告第3号	繰越額使用計画について(令和2年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算繰越計算書)	報告														
請願第1号	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書案第1号	国における2022年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

文教福祉常任委員会報告

6月定例会の本会議において付託された請願については、委員会において慎重に審査が行われました。意見の概要は、次のとおりです。

〔請願第1号 「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願〕

意見 GIGAスクール等社会変化に対応した、教育環境整備を進めるための予算拡充の請願に賛成する。
 意見 義務教育教科書無償制度を堅持するための予算確保に賛成する。
 意見 少人数学級を進めることにも教職員定数を改善するために係る予算確保を要望する請願に賛成する。

以上のような意見があり、請願第1号について採決した結果、当委員会では賛成全員により、採択すべきものと決定しました。

〔請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願〕

意見 義務教育を受ける機会を保障することは国の責務であり、教育費国庫負担制度の意見書に賛成する。
 意見 教育の水準や機会に地域格差が生じることはあってはならない。

については、予算確保は不可欠であり意見書に賛成する。

以上のような意見があり、請願第2号について採決した結果、当委員会においては、賛成全員により、採択すべきものと決定しました。



文教福祉常任委員会



活発な意見が出された委員会

この「議会だより」は、6月定例会の内容を要約したものです。

全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。

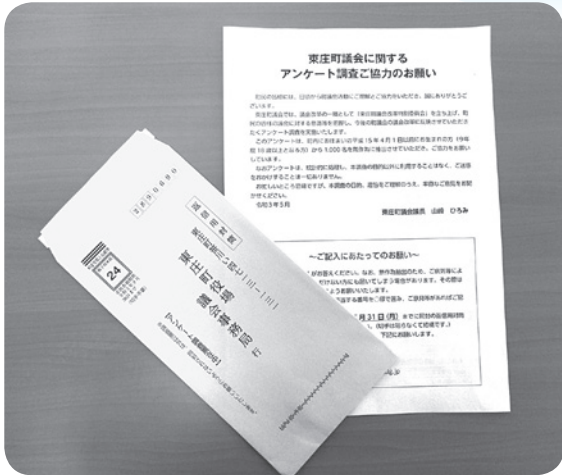
9月定例会は、9月7日(火)から開会予定です。

<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・手指消毒・本会議場の換気を徹底いたします。



東庄町議会に関するアンケート調査 経過状況報告



1000名の町民にアンケートを実施

東庄町議会では、議会改革の一環として「東庄町議会改革特別委員会」を立ち上げました。5月には、町民の皆様の議会に対する意識等を把握し、今後の議会の議会改革に反映させていただきたく、アンケート調査を実施しました。18歳以上の町民の中から、1000名を抽出させていただきました。現在約40%の回答をいただいています。

議会への関心、興味、評価など17項目の質問にお答えいただいています。自由意見欄には、町民の皆さんの生の声をたくさんご記入いただき、議会への期待が感じられました。

お忙しい中、調査にご協力いただきました方には、厚くお礼申し上げます。

回答結果は、最終取りまとめをして、次号や町ホームページで報告する予定です。



議員自らの作業でアンケートの発送・回答の取りまとめを実施



3年生に説明する山崎議長

東庄小学校3年生が訪問

6月16日に、東庄小学校3年生が社会科見学で役場庁舎を訪れ、議会事務局も見学しました。山崎議長も同席し、元気いっぱいの子供達に議長の仕事の内容などを説明しました。室内には歴代の議長の写真が飾ってあり、児童達が関心をよせ、34代目の現議長が、女性初の議長とわかると歓声が上がりました。



板寺 正範 議員

東庄町の公共交通について

問 外出支援巡回バスお出かけ号・東庄病院の送迎バス及び東庄病院貸し出し車両の運行実績と利用者数等を伺う。

健康福祉課長 外出支援巡回バスは、平成14年から無料で運行しており、現在はどなたでも利用できます。令和元年度は1万4475人、1日平均56・5人、令和2年度は4月5月に運休したため、8462人、1日平均33・3人の利用がありました。香取おみがわ医療センターと旭中央病院ルートが利用者の大半を占めています。

病院事務長 東庄病院の送迎バスは、平成8年から無料で運行しており、迎いは2ヶ所で2便、帰りはご自宅付近まで3便運行しています。令和元年度は3968人、1日平均15・1人、令和2年度は4月5日運休したため、2309人、1日平均10・4人の利用がありました。東庄病院

の貸し出し車両は、平成24年から無料で行っていますが、燃料費のみ利用者に負担をいただいております。令和元年度は22回、令和2年度は5回の利用がありました。

問 東庄病院の送迎バスの迎いは、橋駅前と旧役場前のみですが、他の地区からの要望はないのか。

病院事務長 現在は、外出支援巡回バスや家族の車に対応されているように、要望はないようです。

2025年問題（注）や運転免許自主返納の受け皿となる交通移動手段の確保について

問 後期高齢者の人口推移と今後の見通しを伺う。

総務課長 本年4月現在、町の後期高齢者は、2554人、全体の18・8%です。70〜74歳をピークにした山型になっており、5年後は、後期高齢者の占める割合が一層大きくなる見込みです。

問 団塊の世代が後期高齢者となる事や、運転免許証の返納で今後公共交通の利用者が増すだろうが、デマンド交通等新しい公共交通の課題と進捗状況について伺う。

総務課長 運転免許証自主返納者には、令和3年度から福祉タクシー券の支給を開始しています。公共交通

の確保は、喫緊の課題であり、研究する職員チームを立ち上げましたので、年内に具体的な方向性を出す考えです。

今後の東庄町公共交通の目指す方向は

問 公共交通は、地域によっていろいろな様式があると思うが、近隣の地区の導入例を伺う。

総務課長 香取市・神崎町（無料）・多古町・旭市はコミュニティバスを運行しています。乗り合いタクシーは、香取市（旧小見川地区）・多古町・旭市で民間事業者が運行しています。市町によって、路線バス・高速バス・電車などが公共交通として利用されています。

問 病院送迎と個別の用事の移動手段（ドアtoドア）は別のシステムが必要ではないか。町の目指す方向を伺う。

総務課長 病院の送迎の充実と日常生活における買い物などの交通手段の確保が、大きなテーマになります。様々な交通手段を重層的に活用し、免許を返納した高齢者や障害者など日常生活の移動が困難な人々にとって、利便性の高い公共交通の仕組みづくりを目指してまいりたいと思います。

問 福祉面での具体的施策として
①東庄病院へのドアtoドア無

料送迎②安心便利なデマンド交通を事業として追加していただきたい。町長の所見を伺う。

町長 外出支援バスお出かけ号は、町民の皆さんの要望にこたえ、病院ルート運行を追加、増便し、利便性の向上に努めてきたところです。また、活動支援日は、高齢者の団体での移動に役立っており、バスは公共交通として、また、高齢者の生きがいづくりに、一定の役割を果たしてきたものと考えています。しかしながら、高齢化の進んだ現在の状況にふさわしい公共交通のあり方も検討していく必要があります。十分に町民の声や議員各位のご意見に耳を傾け、よりよい公共交通の仕組みをつくってまいります所存です。

（注）団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、超高齢化社が訪れることで生ずる様々な影響



無料で運行されるバス



佐久間 義房 議員

新型コロナウイルスワクチンの予防接種について

問 町における当初の予約方法と予約について見直ししたところを伺う。

健康福祉課長 当初は、電話またはインターネットにより予約を行っていましたが、コールセンターの電話が繋がりにくいなど町民の皆様方にご迷惑をおかけしました。見直した点は、6月1日からコールセンターを1回線増設し、保健福祉総合センター及び役場において職員がインターネットでの予約支援を行うことになりました。

問 2回目の接種予約について伺う。

健康福祉課長 当初は、1回目の接種終了後に予約が必要でしたが、5月17日からは、1回目の接種終了後に2回目の接種日時をお知らせすることとしましたので、ご自身で2回目の予約をとる必要はありません。

問 町における高齢者の現在の接種状況と終了時期の見通しについて伺う。

健康福祉課長 1回目は3738人の方が予約しており、既に9月末まで予約枠がすべて埋まっています。6月4日現在、1回目807人、2回目133人が接種を終了しております。国の方針にあわせて、高齢者が7月末までに終了できるように、医療従事者を確保し、6月26日と7月の毎週土曜日に新たに臨時の集団接種日を設けます。9月末までの集団接種に予約された方は、前倒しで接種し、7月末までに2回の接種が終了する見込みです。町内の個別接種についても、予定人数を増やし、早めの接種終了にご協力をいただいております。

問 アナフィラキシーショック等で体調が急変した方の対応について伺う。

健康福祉課長 接種後は、通常15分間の経過観察を行い、問診した医師が待機しており、救急対応のベット及び薬品等を備えています。アナフィラキシーショック等で体調が急変した場合は、会場の医師で対応し、東庄病院へ搬送できるよう連携しています。医療機関においては、個々に対応していただく事になっていきます。**問** 当日キャンセルが発生した場合の対応を伺う。



順調に進む町民へのワクチン接種

健康福祉課長 ワクチンの廃棄を避けるため、集団接種会場では、集団接種業務に従事する関係者、おでかけ号の運転手などへ接種します。個別接種は、それぞれの医療機関に対応をお願いしています。他の自治体等の例を参考に効率的に有効活用してまいります。

問 64歳以下のワクチン接種について、対象人数、接種券の郵送方法及び時期、接種の方法、終了時期の見通しについて伺う。

健康福祉課長 16歳以上64歳以下の対象人数は、6837人です。接種券は、7月中に一括で郵送します。予約は、基礎疾患を有している方を優先接種とし、それ以外の方は、10歳毎に年齢を区切るなどの方法を検討しています。接種方法は、集団接種と個別接種を併用して8月中旬に開始し、11月下旬終了と見込んでおります。ワクチン接種については、

日々状況が変化しておりますので、国の動向等に注視しながら業務にあたってまいります。
要望 町民が、スムーズなワクチン接種ができるよう、また高齢者については、一日も早く接種が終了できるように体制、整備を要望します。



接種後は一定の時間経過観察

*新型コロナウイルスワクチン接種については、現在も状況が変化してきます。最新情報は、町広報やホームページをご覧ください。



柳堀 忠 議員

緊急時に備える情報伝達と地域力について

問 新型コロナウイルススワクチン接種の予約で混乱を招いた原因を伺う。

健康福祉課長 当初、国からの具体的なワクチン供給量のスケジュールが示されなかったこと、医療従事者等の確保が難しく、十分な予約枠を提供できなかったこと、コールセンターへの電話がなかなか繋がらなかったこと、インターネットでの予約方法がわかりにくかったことなどが考えられます。

問 予約再開のお知らせの方法に
対象者である高齢者に届いている
と認識していたのか伺う。

健康福祉課長 チラシの全戸配布、防災行政無線、町ホームページで周知し、各種団体の総会時に説明しました。インターネット環境がなく、防災行政無線が聞き取りにくいなど、情報が届いていない人がいることは

認識しておりました。

問 町民への速やかな連絡方法の
手段を伺う。

総務課長 町で整備し、活用できる連絡手段は、防災行政無線、防災ラジオ、防災メール、エリアメール、回転灯付きの広報車両、県防災情報システムと連動したNHKや千葉テレビ等の報道機関への情報提供、町ホームページ、Yahoo!防災速報（アプリでの表示）、要援護者台帳に登録されている方への電話連絡などがあります。また、災害の発生する恐れがあるときは、各地区の実情を細かく把握している行政協力員や消防団、民生委員の方々へも協力を依頼し、電話連絡や巡回などを行っていたいただいているところです。

問 その手段は緊急時でも十分対応
できるかと認識しているのか
伺う。

総務課長 町防災行政無線や県防災情報システムについては、保守点検を行っているほか、非常用電源も整備しており、72時間程度の停電にも耐えうる設備です。メール等についても、停電でパソコンが使用できない状況でも、携帯電話を使用し、防災メールを送信できるシステムとなっておりますので、町で整備している機器関係においては、緊急時でも対応できるものと認識しております。行政協力員や消防団、民生委員の

方々に実際に区内の状況報告や高齢者等への声掛けを依頼し、対応できた実績もあります。現段階では、広報や連絡手段は、十分対応できていると認識しておりますが、より一層安全な2重3重の対策を考えてまいりたいと思っております。

防災・減災としての地域力

問 コロナ禍であり通常とは違う
中、どのような使命を行政協力
員に持つて欲しいと考えるか伺う。

総務課長 町では、各区を区長（行政協力員）中心に区内で助け合う自主防災組織と位置付けています。万が一の災害時の対応は、まず自身やご家族の安全が最優先としたうえで、①町の災害対策本部への連絡および要請②区内の被害状況等の情報収集③区民への避難情報の伝達④避難所の運営等への協力⑤救護物資の配布をお願いしております。また「自主防災組織の設立・運営マニュアルの策定キット」を各区長に配布し、町でも各地区で独自の自主防災組織を運営できるよう支援してまいります。過去の災害の際には率先して区内の状況把握に努めていただき、区長の役割は、消防団と同様大変大きなものがあると考えています。

問 隣近所の関わり合いによる地
域力についての認識を伺う。

総務課長 隣近所は、災害時には、特に身近な存在となります。お互いの気持ちで助け合うことで、被害を最小限に抑えることができるものと考えます。農村部に位置する東庄町では近所付き合いなど地域のつながりが比較的強い地域です。人口減少が続く中ですが、地元の祭りの保存など、行政として支援できることを進め、地域住民のつながりが維持できるように取り組んでまいりたいと考えています。

要望 町民がメディアの情報発信と町からの情報に時差があり、不安になりません。様々な情報連絡ツールを駆使していただいて、町民が安心できる対応をしていただきたい。また、発信するものと受信するもので、意識差、年齢差があり、正確に機能しているか考えていく必要がある。

最終的には、地域力としての人と人の繋がりが大切なので、お互いにコミュニケーションをとり、町民のために災害等に備え、真摯に、緊張感を持った危機管理の運営をお願いしたい。



大切な連絡手段である
防災ラジオ



高木 武男 議員

公園の再生について

問 魅力のなくなった公園の再生について町の認識を伺う。

まちづくり課長 公園の管理は、町でもしていますが、設置から年月が経つにつれ、木が生い茂ってしまったりして、設置当初に比べ魅力を失ってしまった公園もいくつかあります。町としても少子高齢化、過疎化、防災なども含め、時代に即したそれぞれの公園のあり方を考えていく必要があると認識しております。

問 ふれあい公園の現状の認識と打開策の考えを伺う。

まちづくり課長 多目的広場は、グラウンドゴルフが活発に行われており、高齢者の健康維持やコミュニケーションの場として、交流センターは、文化活動の場として利用されています。この公園は、自然豊かな魅力もありますが、木が生い茂り見通しが悪いところもあり、子育て世帯の利用者数が少ないことも認識して

います。今後の利用者数を増やす打開策として、ふれあい公園の特性を生かしつつ、まずは景観を損なう樹木の剪定を行い、ふれあい公園にあった再生計画を検討し、多くの人に親しめるような公園をつくる必要があると認識しています。

問 公園は人に安らぎを与え、子供達が学習する場である。時代に合った町民の要望に対応することが求められる。ふれあい公園についての認識を伺う。

まちづくり課長 公園は、スポーツなどを楽しめる場で、休養休息に資する役割があります。公園の豊かな自然は二酸化炭素の排出抑制につながり、子供たちの環境学習の最適な場となります。ふれあい公園は、災害時の指定避難場所として地域の安全を守る防災の拠点にもなっており、大切な公園と認識しております。今後は、公園の整備や管理について利用者や地域の方々、議員の皆様と一緒に考え、専門家のコンサルタント等に再生計画について委託等を検討する必要があります。

問 散策する人が見受けられないふれあい公園を、みんなの公園とするための再生を指して①里山風景の再生についてどのような考えであるか伺う。

まちづくり課長 里山の再生には、日常の管理が課題です。美しい景観



自然豊かなふれあい公園

を目指す一方、実現可能な維持管理や経済性の検討が、必要と考えています。行政だけでは困難で、地域の方などの協力が不可欠と考えております。

問 ②生物の多様性の保全について伺う。

まちづくり課長 様々な生物を保全することは、豊かな自然を守ることになります。現在の樹木や植物の生息の特性を生かしながら、人の手を加えすぎないことも大切かと考えております。

問 ③自然から学ぶ教育場所について伺う。

まちづくり課長 子供達にとって、自然に触れあって学ぶことは重要なことであり、公園の大きな役割です。ふれあい公園についても、自然を生かして、子供達が安心して遊べるように見通しを良くして、遊歩道など

も再整備する必要があると考えております。

問 ④大勢が触れ合う公園には、「プラスα」が必要ですが、どのような考えがあるか伺う。

まちづくり課長 大勢の人が賑わう公園では、食事をする所や土産屋などがありますが、ふれあい公園周辺には、そのような施設はありません。自然豊かで、地域特性を生かしながら、持続可能な公園整備を行いたいと考えています。

要望 大勢の方がふれあい公園に来て散策してくれることが、一番大事です。整備しただけでは集まってくれません。そのためには、「プラスα」でカフェや農産品の販売所などをぜひ作っていただきたい。みんなのための公園に再生されるよう要望します。



高齢者が楽しむグラウンドゴルフ

議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

5月

- 2日 東庄町成人式
- 7日 東庄町シニアクラブ連合会総代会
- 10日 議会広報編集委員会
- 14日 令和3年度第1回千葉県町村議会議長会定例会・政務研究会（書面表決）
- 20日 東庄町児童館運営協議会
- 21日 令和3年度香取郡市町議会議長会定期総会
〃 東庄町商工会通常総代会
- 26日 東庄町シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会

6月

- 1日 議会運営委員会
- 3日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第1回理事会
- 8日 議会6月定例会本会議
- 9日 文教福祉常任委員会

- 11日 議会6月定例会本会議
〃 議会全員協議会
- 21日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第2回理事会
- 24日 香取広域市町村圏事務組合議会6月臨時議会

7月

- 6日 東庄町農業振興地域整備促進協議会
- 12日 第1回東庄町国民健康保険事業の運営に関する協議会
- 19日 東庄町水道運営審議会
- 21日 東庄町表彰条例による表彰式
- 27日 議会広報編集委員会
- 28日 ふれあいまつり実行委員会
〃 第1回東庄町学校給食センター運営委員会（書面表決）



「薪能」の火入れ式

郡上市の「薪能」の篝火には、伝統の3つの炎があり、そのうちの1つが、「千葉家の火」です。千葉氏一族が、1221年に東庄町から入部した際におこした火を、囲炉裏火として800年間絶やすことなく守り続けている大変貴重なものです。



編集後記

コロナウイルス感染症の終息が見えない状況にあり、町民の皆様には不安な日々を過ごされていると思います。有効な治療薬が存在しない中、唯一頼りとなるワクチン接種が5月より高齢者から始まり、年内には、16歳以上の町民の接種が終了する予定です。

通常の診療をしながら、接種に携わった医療従事者の皆様には、心より感謝申し上げます、一日も早くコロナが終息し、平穏な日常に戻りますようお願いいたします。

また全国各地で自然災害が多発し、熱海市の土石流では、大勢の尊い命が失われました。これから台風の襲来する時期になります。まず自分の身は自分で守ることを基本に日頃から備えておくことが大切です。

編集委員会では、議会や本紙に対する皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

議会広報編集委員

越川 良男

委員長
副委員長
委員

花 香 孝 彦
宮 澤 健
佐 久 義 房
桜 井 一
柳 堀 莊
越 川 良 男